

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 3 月 8 日 (2007.3.8)

【公開番号】特開 2005-208965 (P2005-208965A)
 【公開日】平成 17 年 8 月 4 日 (2005.8.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-030
 【出願番号】特願 2004-15248 (P2004-15248)
 【国際特許分類】

G 0 6 T 11/80 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/52 (2006.01)

【F I】

G 0 6 T 11/80 A

G 0 6 T 1/00 5 0 0 A

B 4 1 J 3/00 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 1 月 22 日 (2007.1.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

請求項 5 に記載の画像処理方法であって、

(c) 前記入力画像データに対して実行させるための 2 以上の画像処理を、作業員からの操作指令に基づいて順次指定する行程と、

(d) 前記行程 (c) により一の画像処理が指定される毎に、該指定された画像処理における修整の程度を規定するためのパラメータを、作業員の操作指令に基づいて指定する行程と、

(e) 前記行程 (c) により一の画像処理が指定される毎に、該指定された画像処理の種類を、前記行程 (d) により指定されたパラメータと共に修整履歴ファイルに追加する行程と、

(f) 前記行程 (c) により一の画像処理が指定される毎に、前記入力画像データ、前記修整履歴ファイル、および前記行程 (b) により定められた実行順序に基づいて、前記修整の結果としての出力画像データを生成する行程と

を備える画像処理方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 8】

請求項 7 に記載のコンピュータプログラムであって、

(c) 前記入力画像データに対して実行させるための 2 以上の画像処理を、作業員からの操作指令に基づいて順次指定する機能と、

(d) 前記機能 (c) により一の画像処理が指定される毎に、該指定された画像処理における修整の程度を規定するためのパラメータを、作業員の操作指令に基づいて指定する機能と、

(e) 前記機能 (c) により一の画像処理が指定される毎に、該指定された画像処理の種類を、前記機能 (d) により指定されたパラメータと共に修整履歴ファイルに追加する機能と、

(f) 前記機能 (c) により一の画像処理が指定される毎に、前記入力画像データ、前記修整履歴ファイル、および前記機能 (b) により定められた実行順序に基づいて、前記修整の結果としての出力画像データを生成する機能と

をコンピュータに実現させるコンピュータプログラム。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0058】

図13は、追加レコードの並べ替えの作業を示す説明図である。この並べ替えの作業は、隣どうしの要素の大小を比較してそれらを交換しながら整列するバブルソートと呼ばれる方法によるものである。図13中の(a)に示すように、まず、実行順序記憶ファイルFL2の最後尾に追加レコードRaを付ける。次いで、図13中の(b)に示すように、追加レコードRaとその手前のレコード(以下、比較対象レコードと呼ぶ)Rbとの間で「ビット数」の項目データDT5の値(以下、「ビット数」の値と呼ぶ)の比較を行ない、追加レコードRaの「ビット数」の値が、比較対象レコードRbの「ビット数」の値よりも大きい場合には、追加レコードRaと比較対象レコードRbとを入れ替える。その結果、図13中の(c)に示すように、追加レコードRaと比較対象レコードRbとが、「ビット数」の降順に並べ替えられる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0072

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0072】

(3) 前記実施例では、ステップS394による並べ替え(ソート)を、バブルソートの方法により行なっていたが、これに替えて、バケットソート、基数ソート、ヒープソート、マージソート、クイックソート等、他の方法により並べ替えを行なう構成とすることもできる。